

public competition

'24
37th.

2024

fukuoka prefecture

第37回

福岡県

美しいまちづくり

建築賞

作品集

37th. architectural

award for

artistic urban design works

第10回 福岡県建築住宅センター理事長賞

ご挨拶

福岡県知事

服部誠太郎



本県では、「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県」を目指し、さまざまな施策に取り組んでいます。「福岡県総合計画」では、展開する施策の一つとして、「自然との共生と快適な生活環境の形成」を掲げ、良好な景観形成に資する建築物を表彰することにより、美しいまちづくりに対する県民意識の醸成と快適な生活環境づくりを推進しています。

「福岡県美しいまちづくり建築賞」は、個性豊かで、美しく、誇りを持って次の世代に継承することができる景観を形成し、美しいまちづくりに寄与する建築物を表彰するために創設し、今回で37回目を迎えます。

今回は、ご応募いただいた63の作品の中から、幅広い分野の学識経験者などで構成する選考委員会による厳正な審査を経て、特に優れた8作品を表彰することといたしました。

大賞に選ばれた住宅の部「道山さんの家 / 三角敷地の道と屋根」、一般建築の部「福岡大名ガーデンシティ」をはじめ、いずれの作品も、周辺の自然環境や景観と調和するとともに、まちの美しさを創出し、良好で潤いのある生活環境や市街地の形成に寄与する作品となっています。

これらの作品を表彰することにより、美しいまちづくりに対する県民の皆さまの意識が高まることを期待しています。

結びに、選考委員をはじめ関係者の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者ならびに応募者の皆さまのますますのご活躍をお祈りいたします。

目次

ご挨拶	00
総評	01
大賞	02-05
優秀賞	06-08
奨励賞	09
福岡県建築住宅センター理事長賞	10
最終選考対象作品	11
これまでの大賞受賞作品	12-13

総評

選考委員長

末廣香織



今年で37回目を迎えた本賞には、「住宅の部」20件、「一般建築の部」43件の応募があり、多様な視点を持つ8名の選考委員によって審査が行われました。応募書類による9月の一次審査を経て、9作品が現地審査に進み、リフォーム・リノベーション作品を対象とする福岡県建築住宅センター理事長賞候補の3作品も現地審査に進みました。現地審査は11月中に行われ、その後の最終審査を経て住宅の部3作品、一般建築の部4作品、理事長賞1作品の受賞が決定しました。

「住宅の部」の大賞を受賞した「道山さんの家 / 三角敷地の道と屋根」は、大きな通りに面した変形敷地に立つ店舗スペース付き住宅です。住宅地とはいえ周囲に対してオープンな建ち方をしていて、小さな庭のような駐車スペースも地域に開放されています。小さな屋根が複雑に重なり合ってきた外観は、仕上げ材の素材感や細やかなデザインもあって、親しみやすい表情を作っています。また内部空間は、小さいながらも様々な性格の異なる場所が立体的にくみ上げられていて、この住宅での楽しい暮らしがイメージできました。優秀賞を受賞した「岡垣の家」は、周辺敷地との関係を生かして屋内外を一体化させた空間が特徴的な住宅です。とてもシンプルな形の中に必要な空間を美しくまとめ、ディティールの隅々まで作り込んだ非常に質の高い作品になっています。同じく優秀賞を受賞した「casa Y」は、傾斜のある敷地をうまく使いながら居心地の良い空間をデザインし、隣接する親族の住む既存住宅との一体的な関係を作った住宅です。敷地に余裕がない中で、トップライトをうまく使って柔らかな自然光を導き、効果的な通風を実現した環境デザインも評価できます。現地審査に残った「ラジアル アンプ ハウス」も、非常に見所の多い美しい住宅でしたが、受賞には一歩及びませんでした。

「一般建築の部」の大賞を受賞した「福岡大名ガーデンシティ」は、何よりも福岡の中心部に誰もがいつでも利用できるオープンな公的空間が出現したことが、特にまちづくりの視点から非常に高く評価されました。隣接する旧大名小学校や周辺地域も含めて、公的領域と私的領域をうまく融合した、今後の魅力あるまちづくりへとつながることが期待されます。優秀賞を受賞した「宮前迎賓館 灯明殿」は、歴史ある神社に隣接する結婚式なども行える集会施設です。名前の通り、建物を覆うガラスの内側には障子が設えられており、夜には大きな灯明のような外観になります。バルコニーの手すり、照明器具、建具、左官壁などは、全てが伝統工芸の職人技を駆使して作られており、他にはない魅力的な空間となっています。現代のデザインと伝統を融合して職人技を伝承してゆこうという、関係者の強い思いが伝わってきます。奨励賞の「NOT A HOTEL FUKUOKA」は、住宅地に建つ小さなホテルです。樹木を植えた階段状のテラスを配置することで、北側の公園との一体的な関係を作り、閉鎖的になりがちなホテルに新しいイメージを提示したことが評価されました。同じく奨励賞の「KOGE LOOP ARENA」は、ハの字状に施設内を巡るループが特徴的な、町民のための体育館です。このループは、外観では公園と建物を連続させ、内部ではジムやカフェなどの諸室とアリーナを一体的につないでいます。現地審査に残った「医療法人慈光会 若久病院」も、既存建物との関係を再構成して病院のイメージを刷新した印象的な建築でしたが、受賞には一歩及びませんでした。

「福岡県建築住宅センター理事長賞」を受賞した「九州工業大学GYMLABO(ジムラボ)」は、古い大学の体育館を改修し、多様な使い方ができる開放的な大空間と、その周りの小さな個室を整備しています。大学と地域をつなぐ施設の運営手法も含めて、無理のないデザインができています。現地審査に残った「曳いて起こして故郷で暮らす家」は、伝統を継承した優れた古民家リノベーションでしたし、「UZUUZU MINE」は、新しいリノベーションまちづくりの手法を示した意欲的な取り組みでしたが、受賞には一歩及びませんでした。

大賞

住宅の部 ■ 道山さんの家/三角敷地の道と屋根

設計趣旨 道山さんの家は福岡市の室見川にほど近い街に計画した店舗併用住宅です。敷地形状はほぼ三角形で、中層マンションの立ち並ぶ大通りと住宅街のはざまにある鋭角な角地でした。元々は古い木造2階建てのご実家が建っていたのですが、この数十年で周りの風景も変わり、立地も良いことから将来貸し店舗を併設した住まいの設計を求められました。暮らしのイメージとしては街とのんびりとした連続感があり、人が気軽に集まり長居してしまうような居心地の良い家をご希望されましたが、幅員30mと幅員4mという両極端な2つの道路に面した角地であり、しかも三角形であるため敷地周長の2/3以上が道路に接していました。あからさまに住居の一部が店舗であるのもプライバシーが守りにくそうです。そこでまず用途より先に大小の屋根がばらばらと分散しているような全体像をイメージしました。そしてその屋根の下にいろんな内外のスペースを内包するように計画しました。

平面形状がいびつであることから見る場所によって表情を変える複数の切妻屋根の連なる外観は、内部を想像されにくくしてご家族の暮らしを守るとともに、ダイナミックな軒先の変化が街ゆく人、子どもたちにとっても親しみのある存在になることを目指しました。とはいえ完成して2年が過ぎた現在、実はこの店舗スペースは未だ仕上げ未施工のまま、いつ貸し出されるのかははっきり決まっていません。おかげで下地剥き出しの土間空間はちょうどいい子どもたちの遊び場になっており、この家のほどよい余白空間として暮らしと街のあいだに存在しています。そのうち貸し出されるかも知れませんが、もしかしたらこのままの時間がしばらく続くかも知れません。実はそもそも西側の駐車スペースは自家用ではなく、隣接する保育園の送迎用に無償で使ってもらために計画しました。完成してみると近隣の街や社会にも余白を差し出し、貢献することのできるようなこの建築の佇まいや在り方は、まるで建主の人柄を表現しているかのようだと思います。

道ゆく人や子どもたちが気軽にこの屋根の下で道草したくなるようなそんな風景。家と街のあいだに。

所在地 福岡市早良区
建築主 個人
設計者 一級建築士事務所 ニコ設計室
西久保毅人 榑法明 岩下沙紀
〒167-0043
東京都杉並区上荻1-16-3 森谷ビル5F
TEL. 03-3220-9337
<https://www.niko-arch.com>
施工者 株式会社 久木原工務店
久木原圭一 千原弘士
用途 専用住宅
構造規模 木造 2階建て
竣工日 2022年5月
撮影 大森今日子 西久保毅人



©西久保毅人



©大森今日子



©大森今日子



©大森今日子



©西久保毅人

大賞

一般建築の部 ■ 福岡大名ガーデンシティ

設計趣旨 地域の歴史と文化を継承し
都市を新たなステージへ

福岡市中心部における歴史ある旧大名小学校の跡地活用事業である。計画地である旧大名小学校は福岡市で最も古い学校で、そのグラウンドは地域のイベント活用など長く親しまれてきた場所である。一方で福岡市が進める都心部の機能向上を促す「天神ビッグバン」エリアの中で、市街化の進む天神地区と下町の雰囲気を継承する大名地区の境界に位置し、それぞれの地区文化をつなぐ西のゲートとして位置づけられる施設である。

歴史ある小学校跡地を活用したクロスカルチャーの拠点

求められた校庭の保存を都市に開かれた広場「パーク」として再生し、オフィス・外資系ホテル・商業等を積層した「タワー」と、住宅と創業支援施設に地域の公民館などを加えた「テラス」などから成る複合施設である。大名地区の個性ある地域文化と開発が進む天神地区それぞれの新たな人の流れが囲われた広場で混ざりあい、新しい福岡の異文化交流拠点となることを目指した。

まちの特徴を活かした施設配置

大規模な建築物が多い天神地区と低層で下町的な大名地区や旧小学校校舎を、広場「パーク」が結節点となり、大小のまちのスケールと人や時の流れを違和感なく連続させ、都市の多様性を融合することができた。福岡大名ガーデンシティは、開かれた広場「パーク」を核に様々な人の交流と憩いの空間を創出し、これからの都心の広場のありかたを創出している。



所在地 福岡市中央区
建築主 大名プロジェクト特定目的会社
(代表企業:積水ハウス株式会社)
代表取締役社長執行役員兼CEO 仲井嘉浩
設計者 久米設計・醇建築設計共同企業体
(代表企業:株式会社久米設計九州支社)
九州支社長 永野孝之
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目2番12号 メットライフ天神ビル
TEL. 092-781-5211
株式会社醇建築まちづくり研究所
所長 牧敦司
〒810-0004
福岡市中央区渡辺通2丁目8番12号
TEL. 092-737-3950
施工者 清水・鴻池・積和建設九州特定建設工事共同企業体
(代表企業:清水建設株式会社)
執行役員九州支店長 湯原克佳
用途 事務所、ホテル、飲食物販店舗、共同住宅、公民館、
認可外保育園、診療所
構造規模 地上:S造(柱CFT造) 地下:SRC造一部RC造
地上25階、地下1階建て
竣工日 2023年3月
撮影 濱邊信晴 エスエス九州(2枚目のみ)



優秀賞

住宅の部 ■ 岡垣の家

設計趣旨 博多と北九州のちょうど中間に位置する遠賀郡岡垣町に建つ医者とカウンセラー夫婦と子ども2人のための住宅である。敷地は、長閑な田園風景が広がり、自然豊かな環境の中で子育てをしていきたいという想いからこの地を選び計画がはじまった。近くに奥様のご実家があり、色々と参考にさせて頂く要望があった。彼女は、物心ついた頃から実家の軒先にて雨や雪の日でも七輪を出してきて半屋外食を楽しむ習慣があり、カジュアルなアウトドア活動ができる空間を強く望んでいた。また、実家には昔ながらの2間続きの和室があり、そこを中心に生活をしている中で家族との距離感というものを強く意識されていました。プライバシー確保はされながらも、どこか家族の気配を感じることができる住環境にしていきたい。また、季節によって移りゆく田園風景をより身近に感じる為に、カーテンをしない生活も望まれていた。

基本的な構成は、キッチン、水回り、寝室、多目的室、書斎、収納と機能をもったスペースを壁で囲み、適度な距離を保ちながら配置を行い、それぞれの隙間スペースを家族共有のスペースとし、客人を招き入れるに相応しいパブリック空間とした。多目的室は、奥様が今後カウンセリングの仕事も家で行いたいということで、子どもが小さいうちは、多目的室をカウンセリングルーム（現在別敷地でクリニックとカウンセリングは計画）として使い、子どもが思春期となった頃には、子ども部屋、その後は、倉庫などとして家族の変遷に合わせて柔軟な対応ができるような配慮を行った。水回り以外の空間は天井を設けず、壁のみで仕切られた一体化された空間でもある。氷点下にもなる寒い日には、床下にルームエアコンを設置した床下暖房と薪ストーブを活用するだけで快適に過ごせるよう、床下換気扇やサーキュレーターなども活用しながら空気の流れも考慮した空調計画を行った。

東西に伸びる切妻屋根の隙間や各諸室の隙間から感じる、変わりゆく自然の変化を五感で感じながら感性豊かな暮らしを楽しんで欲しいと切に願う。



所在地 岡垣町
建築主 個人
設計者 株式会社酒井建築事務所 酒井一徳
〒894-0026
鹿児島県奄美市名瀬港町12-1
TEL. 090-2330-1403
<https://sakaiarchitects.com/>
施工者 山下建設株式会社 山下辰信
用途 専用住宅
構造規模 木造一部RC造 1階建て
竣工日 2023年12月
撮影 石井紀久

優秀賞

住宅の部 ■ casa Y

設計趣旨 敷地は建主一族が代々暮らしている土地の一角で時間をかけて手入れされた中庭と高床の蔵で繋がっている。集落的な越境性や共有の裏動線のできた回遊性を継承しつつ、多様性を併存させる懐と多様な顔をもつ住まいにしたいと考えた。まず、既存の地形を住宅全体で感じられるように緩やかな段状の床とし、その中央に生活の拠り所となる2つの塔屋空間（寝間と居間）と、その周縁に生活を補完し外部環境と接続する回遊性をもった下屋空間を計画した。この塔屋と下屋の構成は、構造的には大壁で囲われた耐力壁と、着色した90度の柱・梁によるリズムカルな真壁の開放的な非耐力壁に対応し、環境的には開口部を風と光で役割分担し、風は下屋の壁面のウィンドキャッチャーで室内に取り込み光は塔屋の天窓から断熱材と垂木で拡散された間接光で居住空間に天気の変化を伝える。多中心で重層性のある空間に、多様な対比関係から生まれた場所が渾然と併存することで、身体と住まいがシンクロし、室に固定されることなく常に野生的ななわばりの伸縮が可能となる。この住宅は住まい手の日々の居場所の発見の連続によって柔軟にかたちづくられていく。



所在地 福岡市城南区
建築主 個人
設計者 大庭早子建築設計事務所 大庭早子
〒843-0151
佐賀県武雄市若木町大字川古12485
<https://hayakoarqui.com/>
施工者 株式会社 イクスワークス 内山琢也
用途 専用住宅
構造規模 木造 1階建て
竣工日 2023年6月
撮影 YASHIRO PHOTO OFFICE

優秀賞

一般建築の部 ■ 宮前迎賓館 灯明殿

設計趣旨 博多の歴史を留める旧市街の中心地での集会施設である。天神や博多駅周辺で進むモノ的發展に包囲されながら、いかに歴史を捉えるかということが、自ずから命題となるような敷地である。櫛田神社北神門の脇、民間が3/4、櫛田神社が1/4を分割所有する地での共存計画でもある。容積率を使い切る建築ボリュームが計画の前提となりつつも、いかに、境内への尊厳を表すか。そこから、建物全体が「灯明」となり、日々の営みが神仏に灯火をささげる、という初案によって、まずは関係者の意識を束ねることができた。そして、将来的にも安定した景観を持った神社境内の建物群の形状を、現代建築として編集し反復することによって、場所(空間)との一体的な風景を画った。

また、櫛田神社の周辺は市内最大の職人まちとしての歴史が積み重ねられてきた。この地区から実際に職人さんを起用して建築をつくることは、もはや叶わぬが、可能な範囲まで広げて(市内～県内～九州内)、個人の技能で生き続ける職人さんたちに集まってもらい、あくまで現代構法の現代建築に彼らの造作物を組み込んだ。今は見えない地歴との一貫性をなぞらせる所作として、建築は作られた。



©YASHIRO PHOTO OFFICE



©HARIGANE YOUSUKE



©HARIGANE YOUSUKE



所在地 福岡市博多区
建築主 石蔵酒造株式会社
代表取締役 社長 石蔵利正
設計者 設計+制作/建築工房
代表 高木正三郎 所員 米満光平
〒815-0071 福岡市南区平和1-28-16
TEL. 092-524-4123
<https://www.kooobooo.net>
ノキシタアーキテクトー級建築士事務所
代表 木下知
〒811-1361 福岡市南区西長住1-7-7
サンライト長住602
TEL. 080-6314-2458
<https://www.facebook.com/nokishitaarchi/>
施工者 九州建設株式会社
代表取締役 社長 井山裕
工務本部工務部 高瀬太郎
用途 集会場
構造規模 S造 4階建て
竣工日 2023年3月
撮影 YASHIRO PHOTO OFFICE
HARIGANE YOUSUKE

奨励賞

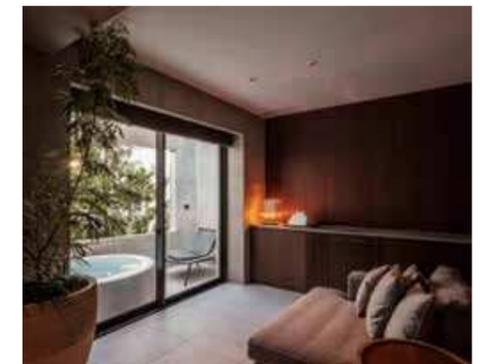
一般建築の部

■ NOT A HOTEL FUKUOKA

所在地 福岡市中央区
建築主 Good Life & Travel Company
代表取締役社長 麻生宏
設計者 axonometric 株式会社 代表取締役 佐々木慧
〒812-0015
福岡市博多区山王1-1-15-401
<https://axonometric.jp/>
NKS2 architects 取締役 佐藤寛之
〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目5-17
須崎公園ビル 2階
施工者 松山建設株式会社 代表取締役 松山孝義
用途 ホテル
構造規模 RC造 5階建て
竣工日 2023年8月
撮影 小島康敬
YASHIRO PHOTO OFFICE



©小島康敬



©YASHIRO PHOTO OFFICE

一般建築の部

■ KOGE LOOP ARENA

所在地 上毛町
建築主 上毛町
設計者 中村拓志 & NAP建築設計事務所 中村拓志
〒108-0072
東京都港区白金5-6-18
TEL. 03-6447-7702
<https://www.nakam.info/>
施工者 東洋建設株式会社
北九州営業所 大谷達男
用途 体育館
構造規模 RC造・S造 2階建て
竣工日 2023年6月
撮影 藤井浩司(TOREAL)



福岡県建築住宅センター理事長賞

選考テーマ:既存建築物のリフォーム・リノベーション

九州工業大学 GYMLABO(ジムラボ)

設計趣旨 九州工業大学GYMLABO(ジムラボ)は、1965年竣工の旧体育館を産学官民・共創のためのコワーキングスペースに教員学生職員が中心となって企画・計画・設計リノベーションしたもので、以下の点が空間デザイン上の大きな特徴である。

1. 閉鎖的な体育館を開放的な緑のコワーキングスペースに再生

飛梁構造の特徴を活かして外壁1階の一部を撤去し、開口部をすることで、閉鎖的な体育館を内外空間が連続する緑豊かなコワーキングスペースに改修した。建築とランドスケープを一体的にデザインすることで、キャンパスの豊かな緑を借景として内部に取り込みながら、内部活動を外部へ見える化している。

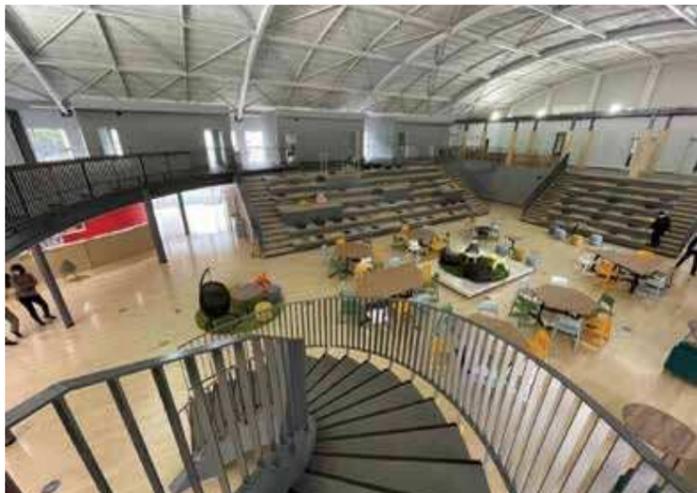
2. 黄金螺旋の線形を活かした2階吹抜空間の増床により、産学官民の交流を誘発する立体的で多様な居場所を創出

高い天井とフラットな床の旧体育館に黄金螺旋(既存施設平面で使用されていた黄金比を踏襲)の線形を活かした2階の吹抜空間をつくり、その上下を、大階段、螺旋階段、ベンチ、ステージ等で有機的に繋ぐことで、産学官民の多様な交流を誘発する立体的で多様な居場所を創出している。

3. 敷地周辺に点在する近現代建築群の散策拠点として活用できる、地域に開かれた新しい大学キャンパス施設としての役割

本施設は、キャンパスから夜宮公園へ続く、明専の森と称される近現代建築群が点在する地区のほぼ中心にあるため、県民にとって、優れた地域資源としての近現代建築群(旧松本家住宅、旧安川邸、九工大・記念講堂等)を繋ぐ回遊拠点としての機能も併せもっており、地域に開かれた新しい大学キャンパス施設の象徴的役割も果たしている。

所在地 北九州市
建築主 国立大学法人九州工業大学 学長 三谷康範
設計者 九州工業大学GYMLABOデザインチーム:建築デザイン担当
佐久間治(元教授・現九州女子大学特任教授)
*GYMLABOデザインチーム:伊東啓太郎 米澤恵一朗
須藤朋美 石塚直登 趙旺熙 施設課 環境デザイン研究室
建築デザイン研究室
株式会社総合企画設計福岡支店設計部課長 西嶋香
浦田庭園事務所株式会社代表取締役 浦田知裕 衛藤一平
前崎成一
株式会社ATOMica(アトミカ) 代表取締役Co-CEO 嶋田瑞生
施工者 大木建設株式会社九州支店 支店長 松尾宗
用途 大学施設
構造規模 RC造一部S造 1階建て(一部2階)
竣工日 2022年3月
撮影 佐久間治



最終選考対象作品

ご応募いただきました皆様、ありがとうございました。

福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては福岡県庁ホームページからもご覧いただけます。

ラジアル アンプ ハウス

所在地 福岡市早良区
建築主 個人
設計者 株式会社 and to 設計事務所 代表取締役 谷口幸平
〒158-0097 東京都世田谷区用賀4-13-11 日興バレス用賀2F
施工者 有澤建設株式会社 和田将人
竣工日 2023年5月
撮影 藤井浩司



医療法人慈光会 若久病院

所在地 福岡市南区
建築主 医療法人慈光会 若久病院 理事長 野見山晃
設計者 株式会社青木茂建築工房 会長 青木茂
株式会社青木茂建築工房 福岡事務所副所長 東佑二郎
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-2-6-206
施工者 松尾建設株式会社 福岡支店 支店長 味志聡
竣工日 2023年12月
撮影 イクマサトシ
上田宏



現いて起こして故郷で暮らす家

所在地 嘉麻市
建築主 個人
設計者 有限会社 建築工房 悠山想 宮本繁雄
〒838-0056 朝倉市中原280-3
施工者 有限会社 建築工房 悠山想 宮本繁雄
竣工日 2018年3月



UZUZU MINE

所在地 大牟田市
建築主 一般社団法人 大牟田未来共創センター 代表理事 原口悠
設計者 大庭早子建築設計事務所 大庭早子
〒843-0151 佐賀県武雄市若木町川古12485
施工者 株式会社 三協化研 管理部課長 坂本篤史
竣工日 2023年5月
撮影 YASHIRO PHOTO OFFICE



これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞

[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞、美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品 / 1回 - 20回

第1回福岡県建築住宅文化賞 昭和63年度
北九州市立美術館



第2回福岡県建築住宅文化賞 平成元年度
石橋別荘第一水明荘
福岡病院
花園幼稚園
ビレッジ香月



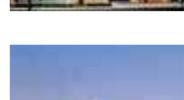
第3回福岡県建築住宅文化賞 平成2年度
松口邸
的野歯科医院
立花山の家
グリーンピア八女



第4回福岡県建築住宅文化賞 平成3年度
進藤邸
不知火病院"海の病棟"
山田市立山田小学校
福岡ウォーターフロント
プロムナード"マリゾン"



第5回福岡県建築住宅文化賞 平成4年度
刈田町立図書館
明治学園高等学校体育館
カルタックスおおむた



第6回福岡県建築住宅文化賞 平成5年度
田川文化エリア
福岡県青少年科学館
佐田邸(4世代の家)



第7回福岡県建築住宅文化賞 平成6年度
茶の文化館
二丈町の家
山笠の家(橋本邸)
西大谷第2団地(市営住宅)



第8回福岡県建築住宅文化賞 平成7年度
縄田邸
上陽町立尾久保小学校



第9回福岡県建築住宅文化賞 平成8年度
碓井琴平文化館
新宮湊坂



第10回福岡県建築住宅文化賞 平成9年度
鞍手の家
太宰府長浦台の家



第11回福岡県建築住宅文化賞 平成10年度
瀬高町立図書館・歴史資料館
山村留学ふれあい館(筑穂学舎)



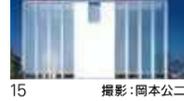
第12回福岡県建築住宅文化賞 平成11年度
山田市立下山田小学校



第13回福岡県美しいまちづくり賞 平成12年度
めくばー三輪
青葉台ほんえるふ



第14回福岡県美しいまちづくり賞 平成13年度
大野城の住宅
ひふ科いのクリニック
八女市多世代交流館「共生の森」



第15回福岡県美しいまちづくり賞 平成14年度
City Cube
篠栗幼稚園



第16回福岡県美しいまちづくり賞 平成15年度
SHIMA STYLE
渡辺クリニック浜浜
247



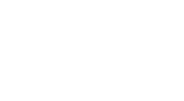
第17回福岡県美しいまちづくり賞 平成16年度
カルシア小戸ナチュア



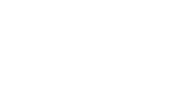
第18回福岡県美しいまちづくり賞 平成17年度
昭和初期和風住宅の移築プロジェクト
西南学院中学校・高等学校
伊田堅抗櫓二本煙突(景観賞)



第19回福岡県美しいまちづくり建築賞c平成18年度
TERZETTO(テルツェット)
中村製紙所新社屋



第20回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成19年度
須崎の長屋



これまでの
福岡県美しいまちづくり建築賞

[美しいまちづくり建築賞] 大賞受賞作品 / 21回 - 36回

第21回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成20年度
東神原の家
アクア博多



第22回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成21年度
ベットと暮らす家[K邸減築工事]
天神MENTビル



第23回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成22年度
豊前の家
下川歯科医院



第24回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成23年度
むさしヶ丘の住宅
築上町火葬場



第25回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成24年度
四季の家
科亭 嵯峨野



第26回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成25年度
Obi house
筑紫保育園 分園



第27回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成26年度
大池の住宅
椎木講堂



第28回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成27年度
松原の家
BOATHOUSE OHORI PARK



第29回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成28年度
太宰府の家
SHIP'S GARDEN



第30回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成29年度
糸島の家[MPラボ]
西南学院大学図書館



第31回福岡県美しいまちづくり建築賞 平成30年度
小屋の間
すばる保育園



第32回福岡県美しいまちづくり建築賞 令和元年度
平和の家
福岡県弁護士会館



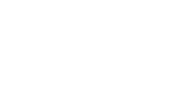
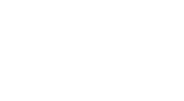
第33回福岡県美しいまちづくり建築賞 令和2年度
浦志の家
嘉麻市庁舎



第34回福岡県美しいまちづくり建築賞 令和3年度
TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE
柳川市民文化会館 水都やながわ



第35回福岡県美しいまちづくり建築賞 令和4年度
HOUSE W
福岡市立平尾霊園合葬式墓所



第36回福岡県美しいまちづくり建築賞 令和5年度
houseG/shopG
太宰府天満宮 仮殿



一般財団法人福岡県建築住宅センター
建築住宅センターの住まいづくりサポート

- 住宅相談
専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談
- 住まいづくり教室
一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催
- 住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度
耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣
- 生涯あんしん住宅
在宅ケア・省エネ・耐震等対応モデル住宅の展示
- インスペクション「住まいの健康診断」
住まいの専門家による既存住宅状況調査の実施
- 空き家活用サポートセンター
空き家の活用や処分などに関する専門相談員による相談窓口
- お問い合わせ先 TEL 092 781 5169 www.fkjc.or.jp/

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、
福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています。

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として昭和53年に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応えてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造計算適合性判定業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。

'24
37th.

第37回 福岡県 美しいまちづくり 建築賞 作品集

表彰の趣旨

今回37回を迎える福岡県美しいまちづくり建築賞は福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与するものです。

応募部門

- 住宅の部・住宅
- 一般建築の部・原則として住宅以外

※概ね10年前以降に竣工したものであれば、過去に応募したものでも再度の応募は可能です。

選考委員会

敬称略・50音順 ◎委員長 ○副委員長

黒瀬武史	九州大学大学院人間環境学研究院 教授
坂口舞	有限会社設計機構ワークス 代表取締役
末廣香織	九州大学大学院人間環境学研究院 教授 ◎
塚崎謙太郎	西日本新聞社 論説委員
知足美加子	九州大学大学院芸術工学研究院 教授
福田裕美	北九州市立大学国際環境工学部 准教授
松山祐子	工学院大学 客員研究員
矢作昌生	九州産業大学建築都市工学部 教授 ○

主催・福岡県

協賛 / 一財：福岡県建築住宅センター

後援 / 独法：住宅金融支援機構九州支店

独法：都市再生機構九州支社

福岡県住宅供給公社

公社：福岡県建築士会

一社：福岡県建築士事務所協会

一社：福岡県建設業協会

公社：福岡県宅地建物取引業協会

一社：九州住宅産業協会

公社：日本建築家協会九州支部

一社：日本建築学会九州支部

公社：日本都市計画学会九州支部

特非：日本都市計画家協会福岡支部

福岡県ゆとりある住まいづくり協議会

福岡県建設業協同組合

福岡県美しいまちづくり協議会

お問い合わせ先

福岡県建築都市部住宅計画課内

福岡県美しいまちづくり建築賞事務局

福岡県庁ホームページ 福岡県美しいまちづくり建築賞

お問い合わせ電話番号 / 092 643 3733

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kenchikusyo.html>